

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	白石町立福富小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との交流や地域の方への働きかけ等を通して、地域の中で育まれている学校の存在を児童および職員が強く意識することができた。 ・学校での取り組みや児童の様子を積極的に家庭や地域に向けて学校便りやホームページ等で発信することができた。 ・新学習指導要領(算数)の県研究指定を受け、自分の考えを伝え合う「なるほどタイム」の在り方を探った。今後は考えの根拠を元に伝え合うようにしていきたい。
2 学校教育目標	ふるさと福富を愛し、誇れる子どもの育成 ～「考える 思いやる きたえる」子ども～
3 本年度の重点目標	① 学力の定着 ② 仲間意識の向上 ③ 挨拶・返事の徹底

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上 ○算数アンケートにおいて「算数の学習はよく分かる・だいたい分かる」と回答した児童70%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内学力向上研修により取組の促進を図る。 ・基礎学力テスト、検定テストを実施し形成的評価を実施し個別指導に生かす。 ・自分の考えをもち、伝え合う「なるほどタイム」を通して、自分の考えを深めさせる。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	○道徳に関するアンケート(年2回実施)において肯定的な回答をした児童生徒70%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等)のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員70%以上 ◎キャリアサポートにおいて自らの夢や目標に対して前向きな考えを記入した児童を80%以上にする。	・人権集会や道徳に関するふりかえりやアンケートの実施 ・保護者や地域の方と連携したふるさと福富大家族フェスティバルの実施 ・2か月毎に「こころのお天気」アンケートを児童に実施する。 ・「気になる子」に関わる情報交換を毎週水曜日の放課後に行う。 ・キャリアサポートを活用するとともに、全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設け、自分の夢、目標を持つこと							・道徳教育推進(馬場) ・人権・同和教育(大嶋) ・コミュニティ担当(川崎敬子) ・生徒指導(中尾) ・教育相談(馬場・中島恵)
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ○体づくりの推進	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上 ②元気な挨拶ができる児童を目標し、挨拶運動や日常の挨拶指導を充実させる。 ○マラソン大会やがんばるマラソン週間を設定し、体力向上や健康な体づくり意識を向上させる。	・始業前や業間、昼休みの時間の外遊びを奨励し、声かけを行う。 ・体育委員会で学年グループごとのスポーツイベントを企画・運営する。 ・日常的な挨拶の励行を学校が一体となって行うとともに家庭にも呼びかける。 ・給食後の菌磨き指導の徹底を図り、保護者へも啓発をしていく。 ・体育委員会でマラソン週間やマラソン大会を企画・運営する。 ・マラソンががんばりカードを作成し、目標をもって体づくりに取り組ませる。							・体育主任(溝上) ・生徒指導(中尾) ・体づくり部 ・体育主任(溝上) ・体づくり部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○学校行事等の精選、校務等の効率化の促進	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限を遵守する。 ○学校行事等の見直しを行い、削減、縮小等を5項目実施する。	・定時退勤日(金曜日)の設定 ・学校閉庁日の設定 ・学校行事については、項目ごとに一覧表を作成し、削減・縮小できるものを三部会で提案し、削減・縮小するための手立てを考え、実行する。							・管理職(教頭) ・管理職(校長)

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○地域に開かれた学校づくり	○コミュニティ・スクールの実践 ○家庭、地域との連携 ○学校からの情報発信	○小中合同による学校運営協議会を年4回開催し、会議の充実とともに小中合同の取組を通して連携を深める。	・学校運営協議会では、学校経営方針等理解を得て、地域連携団体との体験活動等を計画的に進めていく。 ・児童の学習や生活の様子を伝えるため、毎月学校便りを発行し、地域でも閲覧してもらう。			
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員60%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有							・特別支援教育コーディネーター(石戸)

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------